

1-3 海岸への要請

(1) 社会的な要請

海岸は、高潮や波浪、津波などの水害から背後地を守るだけでなく、生物の貴重な生息空間でもある。また、海岸は利用面においても、古くから祭りなどが行われ地域文化を育み、癒しや安らぎを与える貴重な空間である。また交通ネットワークや観光においても国民生活に重要な役割を果たしている。

こうした海岸の重要性は、改正海岸法のみならず、国土形成計画や県総合計画、沿岸市町の長期計画においても重要視されている。

国土形成計画における戦略的目標は以下の通りである。

- 東アジアとの円滑な交流・連携
- 持続可能な地域の形成
- 災害に強いしなやかな国土の形成
- 美しい国土の管理と継承

○ 東アジアとの円滑な交流

広域ブロックが東アジアの各地域と直接交流・連携し、アジアの成長のダイナミズムを取り込んでいく

- ・東アジアの市場をにらんだ企業の新しい発展戦略
- ・観光立国の実現
- ・陸海空にわたる交通・情報通信ネットワークの形成

○ 持続可能な地域の形成

人口減少下においても、地域力（地域の総合力）の結集、地域間の交流・連携により、魅力的で質の高い生活環境を維持していく

- ・集約型都市構造への転換
- ・医療等の機能維持など広域的対応
- ・新しい科学技術による地域産業の活性化
- ・美しく暮らしやすい農山漁村の形成
- ・二地域居住、外部人材の活用
- ・条件の厳しい地域への対応

○ 災害に強いしなやかな国土の形成

減災の観点も重視した災害対策や災害に強い国土構造への再構築を進め、安全で安心した生活を保障していく

- ・ハード・ソフトが一体となった総合的な災害対策の推進
- ・災害に強い国土利用への誘導
- ・交通・通信網等の迂回ルート等の余裕性
- ・避難誘導体制の充実など地域防災力の強化

○ 美しい国土の管理と継承

美しい国土を守り、次世代へと継承するため、国土を形づくる各種資源を適切に管理、回復

- ・健全な物質循環と生態系の維持・形成・海域の適正な利用・保全
- ・個性豊かな地域文化の継承と創造
- ・国土の国民的経営の取組

(2) 地域の要請

1) 県及び沿岸市町の長期計画

① 県の長期計画

「千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」(令和4年4月)

新型コロナウイルス感染症や、気候変動の影響による自然災害の激甚化、人口減少に伴う地域経済の縮小に加え、不安定な国際情勢等により県民生活に大きな影響が生じるなど、千葉県を取り巻く環境は厳しさを増しています。

また、社会経済のグローバル化やデジタル化の進展、脱炭素化の取組などにより、今後、様々な分野で更なるイノベーションが進むことが考えられ、そうした新しい潮流を積極的に取り込んでいく必要があります。

こうした中、県では、今後の社会環境の変化等に対応し、県民の命とくらしを守るとともに、恵まれた自然環境や優れた都市機能を持つ千葉で、全ての県民が生きる価値、働く価値を感じられる「千葉の未来」を創造していくため、「千葉県総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」を策定しました。

「総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」における目指す姿(基本目標)を表1-3.1に、また「総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」の概念図を図1-3.1に示す。

表 1－3.1 「総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」における目指す姿（基本目標）

基本理念を実現するため、県民の命とくらしを守る視点から「危機管理」「産業・社会資本」「医療・福祉」「子ども」について基本目標を設けるとともに、多様な個性が力を発揮できる社会をつくる視点から「共生」、本県が培ってきた財産を守り、活用する視点から「自然・文化」について基本目標を設け、これに沿って、10年後の目指す姿を明らかにします。

- Ⅰ 危機管理体制の構築と安全の確保
- Ⅱ 千葉経済圏の確立と社会資本の整備
- Ⅲ 未来を支える医療・福祉の充実
- Ⅳ 子どもの可能性を広げる千葉の確立
- Ⅴ 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現
- Ⅵ 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

I 危機管理体制の構築と安全の確保

新たな感染症や大規模災害に対して迅速かつ的確に対応できる体制や強じんな防災基盤の整備が進むことにより、県民や企業が安全・安心に活動できる千葉県が確立している。
防犯・交通安全対策が整い、事件・事故の不安なく安全・安心に暮らせる環境が整っている。

1 感染症や災害に対する迅速かつ確な危機管理体制を構築している千葉

①	新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症に対し、市町村等と連携した感染防止対策の実施や、感染拡大時における県と医療関係機関等との連携した対応 など、オール千葉県で県民の命とくらしを守る体制が整っている。
②	令和元年房総半島台風等の一連の災害を踏まえ、県庁内の危機管理体制が強化されるとともに、停電や断水などへの対応も含め、県や市町村、ライフライン事業者等の密接な連携体制が構築され、地震、台風、豪雨などの災害から県民を守る体制が確立されている。
③	県民一人ひとりが、感染防止や防災に関する正しい知識を有するとともに、地域住民同士が助け合い、適切に行動できる体制が整っている。

3 防犯対策と交通安全施策が行き届いている安全・安心な千葉

①	犯罪の徹底検挙が図られるとともに、県民一人ひとりが防犯意識を持ち、県民・事業者・市町村・県が一体となって、犯罪の不安がない安全・安心な社会が実現している。
②	県民の安全を著しく脅かすテロなどが発生した際に、迅速かつ的確に対応できる体制が整っている。
③	歩道や自転車通行環境の整備、交差点の改良など、安全で快適に通行できる環境が整うとともに、交通安全の意識が県全体に行き渡り、飲酒運転などの危険行為がなく、県民が安心して通行できる社会が実現している。
④	消費者が身近な市町村で相談を受けられるとともに、消費生活に関する教育の機会や情報が十分に提供されるなど、消費者被害を未然に防止する体制が整備された社会が実現している。

2 様々な災害に対する防災基盤等の整備が進んでいる千葉

①	令和元年房総半島台風等の一連の災害を踏まえ、水道施設等の停電や浸水への対策が図られるとともに、河川・海岸施設の整備が推進されている。
②	橋りょうや港湾施設等の耐震化が計画的に行われ、地震に強い社会資本整備が進んでいる。
③	建築物の耐震診断・耐震改修が進むとともに、洪水等に対しても、住まい方の工夫が徹底され、災害に強いまちづくりが図られている。

II 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

成田空港の更なる機能強化や道路ネットワークの充実・強化により、本県の広域的な拠点としての優位性が飛躍的に高まる中で、千葉ならではの自立性の高い経済圏の確立が進んでいる。
デジタル化の進展や脱炭素への取組など、社会環境の変化を確実に取り込み、新しいビジネスや産業が本県から生まれている。
また、スマート農林水産業の推進や生産性の向上、消費者ニーズに基づく販売促進などにより、農林水産業が魅力ある力強い産業に育っている。

1 社会経済環境の変化を確実に取り込み地域経済が活性化している千葉

①	成田空港の更なる機能強化と道路ネットワークの整備を生かし、企業立地の促進や新たな産業の振興により、雇用の創出や地域経済の活性化が図られている。
②	京葉臨海コンビナートが技術革新を行いながら、競争力を維持し、本県経済をけん引している。
③	洋上風力等の再生可能エネルギーの発電施設の整備が進み、県内企業の参入や企業立地の増加により、再生可能エネルギー関連産業の集積が図られている。 また、水素などの次世代エネルギーの研究や応用が進み、素材・エネルギー産業のほか、交通や物流をはじめ、幅広い分野で活用されている。
④	中小企業が自らの特性を生かし、生産性の向上や事業の円滑な継続により、引き続き地域経済を力強く支えている。
⑤	女性・若者・シニア等の新たな発想による特色ある多様な起業・創業が進み、県内経済の活力が増している。
⑥	地域経済をけん引している人材育成が進むとともに、全ての県民が自己実現できるような、多様で柔軟な働き方が実現している。
⑦	本県の持つ海や緑などの自然や独自の食文化などの魅力が発掘され、十分に生かされることで、誰もが何度でも訪れたくなる観光地づくりが進み、季節を問わず千葉に多くの観光客が訪れている。

2 農林水産業が魅力ある力強い産業に育っている千葉

①	本県の農林水産業を支える人材が活躍し、所得の向上が図られるとともに、働きやすい環境が整えられることで、農林水産業を魅力ある職業として選ぶ若者が増え、世代間のバランスが取れた就業構造が実現している。
②	将来の具体的な農地利用の姿について地域の合意形成が図られ、農地の集積・集約と持続的管理が行われている。
③	先端技術の導入による「スマート農林水産業」の進展など、生産性の向上が図られるとともに、環境に配慮した生産活動や水産資源の適切な管理等により持続性を確保しつつ、成長産業として発展している。
④	農林水産物の生産・流通・販売において、加工や鮮度保持などによる高付加価値化やICTの活用による効率化が進み、マーケットニーズの多様化に対応できる体制が構築され、国内外で販路が拡大している。
⑤	千葉の魅力を生かした「農山漁村と食」の文化が創出され、本県の農林水産物が好んで選ばれている。

3 交通ネットワークの整備と社会資本の充実が進む千葉

①	県内の広域的な幹線道路ネットワークの整備や国道・県道の整備により、成田空港へのアクセスや県内各地へのアクセスが強化されることで、人やモノの流れが活発になり、半島性の克服につながっている。
②	道路、公共施設などの社会資本が適正に維持管理されるとともに、長寿命化が進んでいる。
③	県民が安心して飲める良質な水が安定的に供給されている。
④	地域が持つ魅力が最大限に生かされたまちづくりが進み、県民がゆとりあるくらしを楽しんでいる。
⑤	バリアフリー化が進み、障害のある人も、高齢者も誰もが安心して快適なくらしができています。

出典：千葉県ホームページより

Ⅲ 未来を支える医療・福祉の充実

必要な時に必要な医療が受けられる体制が整っているとともに、県民の健康寿命が延伸し、健康で生き生きと暮らせる地域づくりが進んでいる。

医療・福祉・地域が密接に連携し、高齢者・障害のある人等が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる環境が整っている。

1 健康で生き生きと安心して暮らせる千葉

①	医療機関の機能分担・連携が進むとともに、ICTなどを活用した最先端の医療技術の導入が進み、県内の医療従事者の育成・確保が図られ、地域において質の高い医療サービスが提供できる体制が構築されている。
②	県民一人ひとりが、がんの予防や早期発見に努めるとともに、がんになっても安心して納得した最善の医療を受けられる体制づくりが進んでいる。
③	県民一人ひとりの健康意識が高まり、健康でこころ豊かに暮らす社会の実現が図られている。

2 誰もが住み慣れた地域で個性豊かにその人らしく暮らせる千葉

①	誰もが互いに見守り支え合う地域づくりが進み、高齢者が意欲や能力を生かしながら住み慣れた地域で元気に生活している。
②	障害のある人がその人に合った福祉サービスを選択しつつ、地域の中で、その人らしく暮らせる環境が整っている。

Ⅳ 子どもの可能性を広げる千葉の確立

妊娠・出産・子育てに必要なサービスが提供され、全ての子どもに明るい未来が広がっている。

個性や能力に応じたきめ細やかな指導体制により、児童生徒一人一人の可能性を広げ、社会で活躍できる人材を育成する教育が行われている。

1 誰もが希望どおりに妊娠・出産・子育てができる千葉

①	子育て世代の経済的な安定が確保され、妊娠期から子育て期まで一貫した相談支援体制が整い、不安のない子育て環境が実現している。
②	男女が共に意欲と能力を生かして働きながら、安心して生み育てやすい社会の構築が進んでいる。
③	多様なニーズに応じた、きめ細やかな保育サービスが構築されるとともに、児童が、家庭や学校以外でも安全・安心に過ごすことのできる居場所が確保され、子どもの健全な成長・発達につながっている。
④	相談体制の充実や関係団体の連携などにより、児童虐待が防止され、全ての子どもに明るい未来が広がっている。

2 児童生徒一人一人の可能性を広げ社会で活躍できる人材を育成する千葉

①	「知」「徳」「体」のバランスの取れた「生きる力」やコミュニケーション能力、創造性など人間本来の普遍的な力を備え、社会で活躍できる人材が育成されている。
②	情報通信ネットワークなどの情報手段を適切に活用した学習活動の充実が進み、ICT等を活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育まれている。
③	自信を育み安心して学ぶことのできる環境が整備され、誰一人取り残すことのない教育が実現している。
④	つながりや支え合いによる地域コミュニティが形成され、地域で子どもの育成に関わる体制が構築されている。
⑤	家庭・学校・地域が連携しながら、社会全体で子ども・若者の成長を支える社会づくりが進んでいる。

Ⅴ 誰もがその人らしく生きる・分かれ合える社会の実現

多様な個性を持つ人々が社会に参画し、その人らしく生きていくことができる社会づくりが進み、活力あふれる千葉が実現している。

多様な主体が連携・協働し、様々な課題解決に取り組んでいる。

1 誰もがその人らしく生きていくことができる千葉

①	一人ひとりが違った個性や能力を持つ個人として、社会に参画し、その人らしく生きていくことができる社会づくりが進んでいる。
---	---

2 多様な主体が連携・協働し様々な課題解決に取り組んでいる千葉

①	行政や県民、企業、団体など様々な主体が連携・協働し、社会の様々な課題解決に取り組んでいる。
②	多数の県民が自発的にボランティア活動などに参加しており、地域における新たな支え合いの確立が進んでいる。
③	市民活動団体の基盤強化が進み、地域活動の支えとなっている。
④	社会変化に対応した学習機会の拡充やリカレント教育の推進などにより、社会で必要とされる知識や技能をいつでも習得することができる生涯学習社会が実現している。

出典：千葉県ホームページより

VI 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

独自の文化を次世代に継承するとともに、多様な文化、スポーツの振興が図られている。また、豊かな自然環境などが観光地づくりや子育て、移住・定住の促進など、幅広い分野で活用されている。

1 様々な「千葉」の魅力の活用により人々が集う千葉

①	千葉の持つ様々な魅力が発掘され、更に向上し、広く発信することで、多くの人々が本県を訪れている。
②	首都圏にありながら、海をはじめとした豊かな自然に囲まれた千葉で暮らすことの価値が高まり、本県への移住・定住につながっている。
③	都市住民との交流の拡大により農山漁村を支える新たな動きが生まれ、農山漁村が国土や自然環境の保全、文化の伝承などにかけがえのない、大きな役割を果たしている。
④	本県の特徴である豊かな地域資源の活用や多様な人材の活躍により、農山漁村が活性化している。

2 豊かな自然環境が守られ、活用されている千葉

①	里山・谷津田など、房総の自然豊かな環境の大切さが広く浸透し、県民が自然の恵みを身近に感じながら暮らすとともに、自発的に自然環境を守るよう行動している。
②	生物の多様性が保全され、人と野生生物とが適切に共存している。
③	洋上風力発電や太陽光などの再生可能エネルギーや水素等の脱炭素燃料の活用等が進むとともに、行政・県民・事業者がカーボンニュートラルに向けた取組を一体となって進めている。
④	廃棄物の発生を抑制するとともに、減量化や再資源化を推進し、それでも不要となったものを適正に処理する、「もの」を大切にすることができている。

3 誰もが文化芸術・スポーツに親しめる千葉

①	本県の豊かな自然と長い歴史の中で育まれてきた郷土芸能、食文化、伝統技術等、魅力あふれる地域の多様な伝統文化を継承していく体制が整っている。
②	本県の特徴である恵まれた自然環境や都市機能を生かした野外イベントなどの文化芸術活動や、時代の流れの中で生まれた新しい文化芸術活動が活発化し、千葉の魅力として、人々を引き付けている。
③	県民が日常生活の中で、気軽に多様なスポーツに親しめるよう、環境の整備が進んでいる。あわせて、東京 2020 大会を契機としたバラスポーツの振興などの取組を生かし、更なるバラスポーツの普及促進が図られている。

出典：千葉県ホームページより

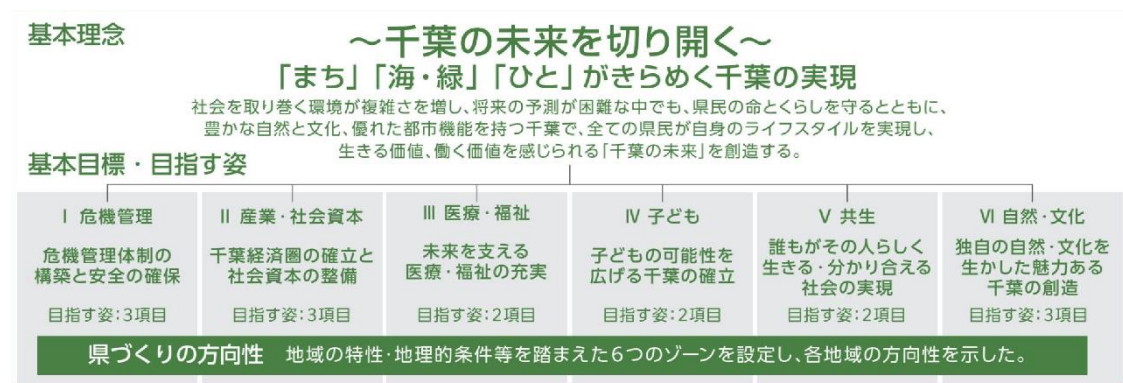


図 1－3.1 「総合計画 ～新しい千葉の時代を切り開く～」の概念図

② 沿岸市町の長期計画

沿岸市町の長期計画の中で、海岸に関連する主な取り組みを抽出し、以下に示す。

表 1－3.2 沿岸市町の海岸への主な取り組み（令和 5 年 10 月時点の沿岸市町の長期計画より）

区名	基本計画	将来都市像（キャッチフレーズ）	計画期間	防護に係わる事項	環境に係わる事項	利用に係わる事項
浦安市	浦安市総合計画	人が輝き躍動するまち・浦安～すべての市民の幸せのために～	R2～R11	・地域主体の防災対策の充実 ・排水・治水対策の充実 （老朽化した護岸の改修を促進等）	・多様化・複雑化する生活環境問題への対応	・水辺のネットワークの形成 （緑道、公園等の公共空間を活用した整備） ・海岸環境の整備・活用 ・日の出・明海地区海岸の全面開放に向けた取り組み ・舞浜地区海岸の護岸改修の推進・緑道の整備 ・三香瀬の活用促進・海岸開放にむけた取り組み
市川市	市川市総合計画「I&Iプラン21」 第三次基本計画	ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ	R5～R7	・激甚化する自然災害への備え ・自助・共助を基本とした地域防災力の向上	・自然環境の保全と生物多様性の推進 ・自然との触れ合える機会の創出 ・水辺の環境の保全（三香瀬の保全）	・適切な土地利用による魅力と活力あるまちづくり （三香瀬の自然環境と調和した地域づくり）
船橋市	第3次船橋市総合計画	人も まちも 輝く 笑顔あふれる 船橋	R4～R13	・地域防災力の向上 ・都市防災機能の向上 （海岸保全施設の早期整備の促進）	・生物多様性の保全・利用 （ふなばし三香瀬環境学習館の活用等による環境学習の促進と三香瀬の保全）	—
習志野市	習志野市後期基本計画	未来のために～みんながやさしさでつながるまち～習志野	R2～R7	・地域防災力の向上	・谷津干潟の保全・活用 ・環境教育の推進と環境学習の促進（谷津干潟）	・公園の整備・維持管理（谷津干潟自然観察センター）
千葉市	千葉市基本計画	みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市	R5～R14	・風水害対策の推進	・水辺環境の保全と活用（浜辺・海辺の魅力向上）	・美しく心地よいまちづくりの推進
市原市	市原市総合計画 変革と創造いちほらビジョン2026	夢つなぎ ひときらめく 未来創造都市 いちはら	H29～R8	・防災・減災対策等により、安心・安全な生活環境を確保	・自然と共生する社会を目指す	—
袖ヶ浦市	袖ヶ浦市総合計画	みんなでつくる 人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ヶ浦	R2～R13	・海岸・護岸施設の適正管理	・自然環境の保全と共生 ・快適で安全に生活できる環境の維持	—
木更津市	木更津市第3次基本計画 未来創生 木更津トランスフォーメーション （KK）	魅力あふれる 創造都市 きさらづ ～東京湾岸の人とまちを結ぶ 躍動するまち～	R5～R8	・災害に強い基盤づくり	・環境美化対策の推進（海岸クリーン作戦の支援） ・自然環境の保全（小櫃川河口干潟）	・観光漁業の推進（潮干狩り場周辺の施設環境を整備） ・観光地域づくりの推進 （海辺を活かしたシーカヤック体験等、里海の地域資源を活かした観光コンテンツの充実） ・港湾環境の整備、港湾の活用（木更津港）
君津市	君津市総合計画	ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ	R4～R12	・地域が一体となった防災対策の推進	・生活環境と自然環境の保全	—
富津市	富津市みらい構想	誇りと愛着を持てるまち ふつつ	R4～R13	・「富津市国土強靱化地域計画」の着実な実行	—	—
鋸南町	鋸南町総合計画	みんなでつくる三ツ星のふるさと・鋸南	R3～R12	—	・町内の環境美化活動	・無秩序な開発の抑制（漁村風景の保全）
南房総市	第2次南房総市総合計画 （後期基本計画）	ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総	H30～R9 (R5～R9)	・津波避難対策の推進 ・防災体制の強化	・環境基本計画の推進 ・環境学習の推進 ・自然環境の保全と環境美化（海岸）	・海水浴場等の観光施設の維持管理・改修・統廃合 ・国土調査の推進 ・良好な景観まちづくりの推進 ・豊かな自然を活かした多様なツーリズムの推進
館山市	第4次館山市総合計画 （後期基本計画）	笑顔あふれる 自然豊かな “あったか ふるさと” 館山	H28～R7 (R3～R7)	・津波防災まちづくり事業	・自然環境保全対策事業 ・環境美化推進事業	・「館山海浜興ビジョン」に基づく海辺まちづくりの推進 ・海岸利活用事業 ・海・浜空間利用者のマナー向上 ・海水浴場の開設 ・景観まちづくりの推進

2) 地域住民の声

なの花県民会議の開催結果、ならびにホームページやリーフレット等にて寄せられた意見を総括し、海岸への要請として取り上げるべき事項を整理すると、以下のようになる。

① 防護に関する意見

- ・ 高潮・波浪や津波への対策の推進
- ・ 海岸侵食への対応
- ・ 地球温暖化への対応
- ・ 海岸景観や自然環境に配慮した防護施設整備

表 1－3.3 地域住民からの意見（防護関係）

分類	該当地区	意見の要旨	住所	メディア
防護関係	海岸全般	地球温暖化による海面上昇への対応について、ご検討願いたい。	夷隅郡大原町	ホームページ
	富津市・鋸南町境 ～ 富津岬	防護面で、海岸線の道路が狭いなど、未だ不十分な場所が多い。	君津市	リーフレット
	富津岬～都県境	当該地区では、都市的施設（重厚長大産業など）が集積しているため、海岸の防護を基本に検討願いたい。	市原市	リーフレット
	洲崎 ～ 富津市・鋸南町境	当該地区では、砂浜の侵食対策や、津波対策は急務である。	安房郡富浦町	リーフレット
	洲崎 ～ 富津市・鋸南町境	豊岡・原岡海岸には堤防が無い箇所があり、高波浪時は危険である。当該地区では、海岸の防護を基本に検討願いたい。	安房郡富浦町	リーフレット
	洲崎 ～ 富津市・鋸南町境	台風や強風時には、海岸沿いの道路が通行止めになるため、車が多い国道を通らなければならない、危険である。安全な海岸道路が欲しい。	安房郡富浦町	リーフレット
	海岸全般	海岸の景観や自然環境に配慮し、また多目的用途に対応した防護施設の整備を願いたい。	千葉市稲毛区	ホームページ
	洲崎～富津岬	富津から館山にかけては、大きな波浪の影響が少なく、海岸と住居が接近し、沿岸域が開発されている。人間の侵入が原因で海からの災害をうけやすい場所となっている。また、岩井海岸の右岸の侵食が激しいようである。	鴨川市	ホームページ
	洲崎 ～ 富津市・鋸南町境	館山湾の海岸線は、貴重な海の観光資源となっている。海岸の高潮対策も大事であるが、これからの対策は、自然の海岸をいかに残していくかであり、そのような高潮対策をお願いしたい。	館山市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 （検見川の浜）	自然石等を用い、親水性を考慮した施設整備が要望されている。	—	検見川の浜 市民意向調査

② 環境に関する意見

- ・ 砂浜や干潟の保全・創造
- ・ 貴重な動植物の保護
- ・ 漂着ゴミ等への対応
- ・ 海岸での植栽など緑地整備の拡充

表 1－3.4 地域住民からの意見（環境関係）

分類	該当地区	意見の要旨	住所	メディア
環境関係	海岸全般	海亀などの生物にも優しい海岸環境の保全に留意し、事業を進めて頂きたい。	大原町	ホームページ
	富津市・鋸南町境 ～富津岬	海岸保安林の保全、海岸での植栽などを推進して欲しい。	君津市	リーフレット
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	近年、砂浜が減少し、浜辺の草花が無くなってしまったので自然環境保護の検討を願いたい。	富浦町	リーフレット
	海岸全般	これ以上の東京湾の埋立を禁止し、かつての自然海岸の復元に努めて頂きたい。また、海岸に人の立入禁止区域を設けて欲しい。	千葉市	ホームページ
	富津岬～ 市原市・袖ヶ浦市境	富津岬では現在、ゴミの不法投棄や漁業資源保護、動植物保護の問題があると聞く。これらの問題の解決のためには、利用者のモラル向上が必要であり、関係機関や地元が連携した指導活動や広報活動が求められる。	千葉市	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境～ 都県境	検見川の浜では年々魚が減っており、“自然”が減っているのを実感する。	千葉市	ホームページ
	富津市・鋸南町境 ～富津岬	市町村・ボランティア・利用客などの連携も含め、ゴミ対策の検討を願いたい。	君津市	リーフレット
	海岸全般	特に富津岬などでは、ゴミ問題がここ数年悪化した。行政の抜本的対策を要望する。	埼玉県	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境	行徳の鳥獣保護区は、海から飛来してくる鳥のためにも確保し、市民の憩いの場としてほしい。	市川市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境	谷津干潟の保全に対して、本年度から国でも助成を始めたが、県からも是非助成金をお願いしたい。	習志野市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境	谷津干潟での保全の取組みの経験を十分学んで、三番瀬の保全にも生かしてほしい。	習志野市	なの花会議
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	館山湾の沖ノ島の浅瀬は、サンゴ生息の北限域として世界的にも注目されるサンゴの里海であり、すばらしい海であることから、生息環境を保護するとともに、国の天然記念物に指定できないか。	館山市	なの花会議
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	館山栈橋は、海ホテルを年間通して観察できる唯一の場所であることから、海ホテルの観察地として位置付けてほしい。	館山市	なの花会議
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	館山湾にはサンゴや海ホテルなど海の生物がたくさん生息していることから、私たち市民も汚れた水を海に流さないことを心がけたい。行政も下水道や浄化施設の整備を推進しているが、海全体を守るために、これからも推進してもらいたい。	館山市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	砂浜スペースの拡大が要望されている。	—	検見川の浜 市民意向調査
		海岸での植栽、生物生息環境の創造等が要望されている。	—	検見川の浜 市民意向調査
		海岸でのゴミの放棄等に対して、利用マナーの向上や、ボランティア活動の推進が要望されている。	—	検見川の浜 市民意向調査

③ 利用に関する意見

- ・ トイレ・遊歩道など利便施設の整備
- ・ 利便施設のバリアフリー化
- ・ 年間を通しての海岸利用の促進
- ・ 水際線の開放
- ・ 歴史遺産等の有効活用
- ・ 不法係留船舶への対策の推進
- ・ 海岸利用のルールづくり

表 1－3.5 地域住民からの意見（利用関係）

分類	該当地区	意見の要旨	住所	メディア
利用関係	海岸全般	県内に公共のマリーナをもっと整備して欲しい。 蘇我駅周辺の再開発に併せて、千葉港の再開発も行うと聞いたが、ぜひマリーナの整備を検討願いたい。	千葉市	ホームページ
	海岸全般	海岸利用の規制標識や利用マップの作成など海岸利用のルールについて、検討願いたい。	大原町	ホームページ
	富津市・鋸南町境 ～富津岬	各種イベントの開催など、年間を通しての集客方法を考えて頂きたい。	君津市	リーフレット
	富津岬～ 市原市・袖ヶ浦市境	海岸利用に関するルールづくりや利用者への広報活動について、検討願いたい。	千葉市	ホームページ
	富津岬～都県境	県民が海と接するラインを設け、新たなライン沿いに人工磯を整備して欲しい。また、水際線の開放後に、ゴミ対策や利用者マナーの向上についても検討願いたい。	市原市	リーフレット
	海岸全般	新たなマリンスポーツが可能な海岸づくりを検討して欲しい。また、海岸へのアクセス向上やバリアフリー化についても検討願いたい。	千葉市	ホームページ
	海岸全般	現状は、公共のスロープがなく不便している。プレジャーボートの係留施設を整備して欲しい。	松戸市	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	サーファーの事故が度々発生している。突堤や離岸堤は危険であるため撤去して欲しい。	千葉市	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	検見川の浜の駐車場は、もっと長く利用できるようにして欲しい。またバーベキューができる施設を整備して欲しい。	千葉市	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (幕張の浜)	自然にやさしく、1年中利用できる海の家をつくり、海の景色と共に落ち着ける空間をつくって欲しい。	千葉市	ホームページ
	海岸全般	海岸にローラーブレードが出来る歩道をつくって欲しい。	東京都中野区	ホームページ
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境	現在のコンクリート式護岸は、人の水辺への出入りを阻害する護岸である。昔のような豊かな水辺環境づくりをお願いしたい。	市川市	なの花会議
	富津岬～ 市原市・袖ヶ浦市境	木更津市の中心市街地は、駅から海岸までの距離はないが、道路が狭い。鉄道の高架化により木更津駅の西口と東口をつなぎ、また、海岸の方にある県企業庁の遊休土地を木更津市に寄付して、ゆとりと奥行きのある街をつくり、木更津市の活性化につなげてほしい。	木更津市	なの花会議
	洲崎～ 富津市・鋸南町境	沖ノ島は、縄文時代の貴重な遺跡が存在し、当時の生活の痕跡もたくさん残っている。本物の遺跡を見てもらいたい。	館山市	なの花会議
	市原市・袖ヶ浦市境 ～都県境 (検見川の浜)	トイレ・手洗場・遊歩道等の利便施設や駐車場の拡充等が要望されている。	—	検見川の浜 市民意向調査

④ その他の意見

その他海岸保全基本計画に関する意見を表 1－3.6 に示す。

表 1－3.6 その他海岸保全基本計画に関する意見

該当地区	意見の要旨	住所	メディア
その他	海岸保全基本計画を、紙面および電子情報の形式で自由に閲覧できるような措置をお願いしたい。また、必要な方には、CD-ROM等の形で情報提供できるようご検討願いたい。	千葉市	ホームページ
海岸全般	白渚海岸の成果を、千葉県の海岸全体に生かせるよう、検討願いたい。	鴨川市	ホームページ

⑤ 三番瀬に関する意見

三番瀬海域に関して寄せられた意見を表 1－3. 7 に示す。

表 1－3.7 三番瀬に関する意見

分類	該当地区	意見の要旨	住所	メディア
防護関係	三番瀬	・塩浜地区護岸の恒久的整備を願いたい。	市川市	リーフレット
		・高潮、台風能耐えられ、陥没しない護岸の整備を願いたい。		
		・近代的な護岸の整備を緊急に対応して欲しい。		
		・緩傾斜護岸にするべきである。		
		・沖合に消波ブロックを設置して欲しい。		
		・第二湾岸道路を考慮しての護岸を希望する。		
環境関係		・自然環境を大事にしながら経済の活性化をはかれる環境づくりが望ましい。		
		・砂浜を希望する。		
		・里海の再生が必要である。		
		・海辺に松林があると海浜環境の眺めがよい。		
		・緩やかな勾配をもった自然の浅瀬にして欲しい。		
		・陸を削る以外の方法で、自然環境を守るべきである。		
利用関係		・工業地帯であるが緑と海の利点を生かした海岸の整備を願いたい。		
		・市民が楽しめる海岸を求める。		
		・市民がアクセスできる海岸を求める。		
		・市民が親しめるボードウォークを期待する。		
その他		・協議会経由で要望書を提出済なので早期の回答を望む。		
		・海を生活の場としている漁業者の意見を取り入れて欲しい。		
		・以前のように漁場全体が使用できるようにして欲しい。		
		・護岸の一部には漁港も含まれており、環境保護だけでなく総合的なプランが必要である。		

3) 公聴会

○平成 15 年 3 月 1 日（土）10:30～12:00

習志野会場（京成津田沼駅ビル・サンロード 6F 大会議室）、参加者 55 名

○平成 15 年 3 月 1 日（土）14:30～16:00

木更津会場（木更津市民総合福祉会館 1F 市民ホール）、参加者 65 名

○平成 15 年 3 月 2 日（日）10:30～12:00

館山会場（館山商工会議所 2F 会議室）、参加者 70 名

上記、公聴会にて寄せられた主な意見について、防護・環境・利用のそれぞれに関する意見、その他及び三番瀬に関する意見に分類・整理した。

① 防護に関する意見

表 1－3.8 公聴会における意見（防護関係）

分類	会場	意見の要旨	住所
防護関係	習志野会場	人工海浜（稲毛、検見川、幕張）における砂浜の維持への対応はどのように考えているのか。	浦安市
		地球温暖化への対応についてはどのように考えているのか。	
	木更津会場	富津岬は侵食しているところもあるが、最近では落ち着いていると思う。侵食対策として、安易に養浜等を行っても、沖へ流出すること考えられ、慎重にご検討願いたい。	富津市
		マツ林の前面が侵食傾向にあり、対策を考えて欲しい。	君津市
	館山会場	富浦漁港周辺の海岸では、最近侵食が進行している。早急な対応をお願いしたい。	富浦町
		館山湾全体で考え、堆積箇所の砂を利用して、養浜する事を考えてはどうか。	館山市
		岡本川の導流堤により、侵食が進んでいるため、検討願いたい。	富浦町
	FAX	防潮堤を構築する場合は、海岸と陸地を断絶することがないように考慮して欲しい。	館山市

② 環境に関する意見

表 1－3.9 公聴会における意見（環境関係）

分類	会場	意見の要旨	住所
環境関係	習志野会場	河川等から流入する窒素やリンによる富栄養化や青潮が問題となっているが、水質環境の改善は、どのように考えているのか。県では、エアレーション等も検討していると聞いている。	習志野市
		千葉県では環境問題への意識が非常に強いので、今後は是非ともご配慮願いたい。また長期的なビジョンとして、人命を守ることと環境との調和が必要と思う。	習志野市
	木更津会場	牛込漁港周辺では、ゴミの漂着やアオサの発生により漁場環境が悪化している。これまでも県の方へお願いしたが、漁場環境の改善やアオサ対策については是非とも願いたい。	木更津市
		人命を守るとともに、自然に影響を与えない防護を考え、今ある自然を極力残して欲しい。	君津市
		木更津ではウラギクやハママツナなどの植物が存在しているが、工事の影響もあり、最近非常に少なくなってきた。また、干潟の浄化能力は非常に高い。今後、漁業や環境への影響を重視してほしい。	木更津市
		小櫃川の河口の中州は、コンクリートなどで守るのではなく、自然の地形等により守るようご検討願いたい。	君津市
		干潟の再生にあたっては、工事による再生ではなく、自然による再生をお願いしたい。	君津市
	館山会場	北条海岸は、客観的にみてあまり水質はよくない。自然の姿に戻して欲しい。	館山市
		海岸の植生が少なくなっているので、配慮して欲しい。	富浦町
	FAX	海は自然のままにしておくべきであり、やむを得ない危険地帯に限定して対応するべきである。	千葉市
		水面を小さく区切らず、自然に作られた地形を大切にしたい。事業にあった施設か疑問なものもあるので、目的にあった施設を造ってもらいたい。	館山市
		海岸の植樹については、熱帯性植物ではなく、松などがよいと思う。（清水市の三保の松原のように）	館山市
		盤洲干潟の底生動物（特にアサリやカニなど）が貧弱になってきているので、水産研究センター等の専門家の意見も聞き、豊かな干潟を復活して頂きたい。これはアマモ場やコアマモ場がなくなっていることが影響していると思うので、藻場の復活を漁組とも話し合って進めて欲しい。	君津市
		館山市の北条海岸は歴史ある海水浴場であるため、十分、自然に優しい開発計画にして欲しい。	館山市

③ 利用に関する意見

表 1－3.10 公聴会における意見（利用関係）

分類	会場	意見の要旨	住所
利用関係	習志野会場	海水浴利用の拡充はどのように考えているのか。	浦安市
		葛南地区においては、親水空間の拡充をお願いしたい。	船橋市
	木更津会場	盤州干潟はたいへん貴重な場所であり、多くの人々に接して欲しいが、トイレや駐車場がなく、ご検討願いたい。	君津市
		富津岬においては、天然記念物級の植物群落が存在しているが、最近少なくなっており、布引海岸にはまだ残っている。しかし、自動車等の乗り入れの問題等もあり、立入規制等をお願いしたい。	
	館山会場	利用客等が増えたと、海岸の植生にも影響があるため、利用区域の設定等を検討してはどうか。	富浦町
		ジェットスキーは、海水浴やダイビング等に対して危険であり、利用区域の設定等を考えて欲しい。	館山市
		プレジャーボート等の保管施設を整備して欲しい(有料でもよい)。	
		北条海岸のボードウォークの完成はいつか。また、ボードウォークは砂に埋まっているところもあり、放置すれば腐ることもあり、適切なメンテナンスが必要である。	
		以前も土木事務所へ要望書を提出したが、館山にビーチバレー場、子供向けの公園、市民用スロープを整備して欲しい。	

④ その他の意見

表 1－3.11 公聴会における意見（その他）

分類	会場	意見の要旨	住所
その他	習志野会場	第二湾岸道路・フェニックス計画との整合性はどのように考えているのか。	浦安市
		河川と海岸との整合性はどのようにお考えか。菊田川などでは、河道内への波の進入への対応や水質改善への対応はどのように考えているのか。	習志野市
	木更津会場	木更津・富津ゾーンの記述において、シオギクと記述があるが、シオクグあるいはウラギクではないか。ご確認願いたい。	千葉市
		基本計画の中に水循環という視点が必要ではないか。千葉県では、地層マップ等が作成されており、参考としてはいかがか。	木更津市
		環境部局(自然保護課、水産課等)の参加はどのようにお考えなのか。	君津市
		海岸の地域会議は、是非ともお願いしたい。	
	館山会場	北条海岸の突堤や階段式護岸を撤去し、自然の姿の海岸にして欲しい。その撤去材は、魚礁ブロックや駐車場の敷石等に用いてはどうか。	館山市
		直立式の防潮堤は環境に影響を及ぼすので、自然のものを利用した防護について検討して欲しい。	富浦町
		新井海岸は、館山で唯一残った自然の海岸であり、工作物を造らないで欲しい。	館山市
		海岸事業に際し、館山湾全体を対象としたシミュレーションや水理模型実験等は実施されているのか。シミュレーション結果などから、侵食する場所や潮流の変化等がわかるのではないか。	館山市
		北条海岸では、養浜砂に山砂を使用しているためか、足元が沈むこともあり、子供にとっては危険である。	館山市
	FAX	砂浜の海水浴場に護岸・突堤等を造ると危険と思う。護岸・突堤等を造ったことによる反射波等も考えるべきと思う。	館山市
		魅力ある海岸づくり会議は、誰もが自由に参加できる形であって欲しい。	
		いたずらに外国の有名観光地の景観を模倣するのではなく、地域の特性を生かして欲しい。	館山市

⑤ 三番瀬に関する意見

表 1－3.12 公聴会における意見（三番瀬関係）

分類	会場	意見の要旨	住所
三番瀬 関係	習志野会場	市川の塩浜護岸は暫定の護岸であり、高さが4～5m程度しかなく、台風時に非常に危険である。また不法係留の問題や護岸裏込砂の吸い出し等の問題もある。円卓会議の結果を待っている間に災害の恐れもあるため、保全区域を前に移し、早急な対策をお願いしたい。	船橋市
	FAX	葛南ゾーンについては「三番瀬円卓会議」の結論を見て海岸保全計画を決めるという事だが、災害は待ってくれない。「海岸保全」は「生命と財産」を守ることが大前提である。	市川市
		塩浜地先の暫定護岸は高さが5m前後で、鋼矢板が技術的に危険な状態であるため、台風の度に自己防衛（休業・早期避難等）を余儀なくされている。（約50社、従業員約1000人）	
		海岸保全区域を塩浜1丁目～2丁目の護岸線に設定することにより、護岸の整備が早期に着工されると確信している。	
		JR市川塩浜駅を中心とした塩浜2丁目地区は、市川市と共働して、環境共生の街づくりを推進しているので、親水性のある「安全」な護岸の整備計画にして頂きたい。	千葉市
		三番瀬の中間まとめや護岸・陸域小委員会の中間報告、海域小委員会の中間報告等をPRのために配布しても良かったのではないかな。	

4) ちばづくり県民コメント制度（パブリックコメント）

平成 25 年度、平成 28 年度及び令和 6 年度の変更の際に実施したパブリックコメントと関係市町、海岸関係者への意見照会で寄せられた意見を表 1－3.13～表 1－3.15 に示す。

表 1－3.13 平成 25 年度パブリックコメント等における意見

分類	意見の要旨	意見者
防護に関する意見	保全区域が途切れている河川については、水門を設けて川への津波の侵入を防ぐべきと考えます。	関係市町
	本市は、高潮位の方が津波高よりも高いため、被災頻度が高いと想定されます。また、海岸線が長く、沿岸地域に住宅が密集しており、多大な被害が想定されるため、海岸保全施設のうち未整備箇所について早急な整備をお願いします。	関係市町
環境に関する意見	東京湾沿岸は貴重な動植物の生息域でもあり、津波・高潮対策に関しては生息・保全に十分配慮することを要望します。	一般の方
	特にお願いしたいのは、景観的な側面です。観光に従事し、地元に住んでいる者にとって、万が一もちろん大切ですが日々の生活をどのような環境で過ごすかも重要なポイントです。堤防を作るとしても、見る人の美的感覚を重視するよう特にお願ひします。	海岸関係者

表 1－3.14 平成 28 年度パブリックコメント等における意見

分類	意見の要旨	意見者
防護に関する意見	施設の修繕目安のために、施設竣工年度を記載して頂きたい。	一般の方

表 1－3.15 令和 6 年度パブリックコメント等における意見

分類	意見の要旨	意見者